

介護テクノロジーに関する学生アンケートの実施について

目的

■介護・福祉を学ぶ学生における、介護テクノロジーのイメージ、認知度、理解度及び就職先を選ぶ際に介護テクノロジーの活用状況がどの程度影響するかを把握するため。

対象/期間

■大阪府内の福祉系大学の学生（「社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士」等の資格取得を目指す学生を含む）/ 令和7年7月1日～令和7年10月31日

学生様への メッセージ

【リード文】学生の皆さんへ

現在、日本では高齢化が進む中で、介護職員の人材不足が大きな課題となっています。こうした状況を受けて、介護現場では介護テクノロジーの活用などによる業務改善が進められており、働く方の負担軽減や、働きやすい職場づくり、さらには高齢者へのケアの質の向上を図るという生産性向上の取組みが進められています。

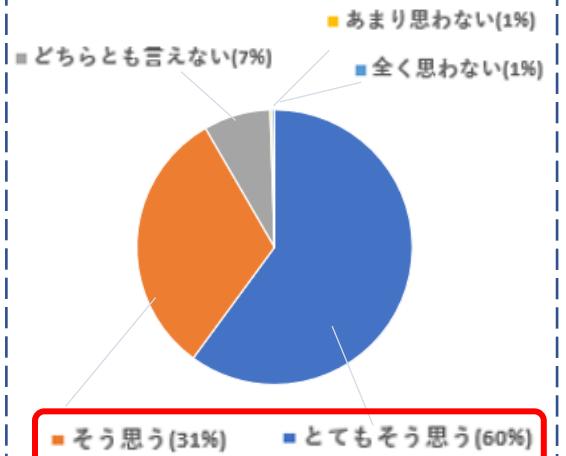
これらを進めることで、介護業界は、これまでのイメージから、より魅力的な職場へと変わろうとしており、大阪府でも、介護現場の生産性向上や働きやすい環境づくりを支援し、若い世代の皆さんからも選ばれる職場となることを目指しています。

本アンケートは、介護・福祉を学ぶ皆さんに、介護テクノロジーがどのようなもので、どのように活用されているのかを知っていただくとともに、皆さんに介護業界に対してどのようなイメージを持っているかをお聞きし、今後の府の施策に活かすことを目的としています。是非、率直なご意見をお聞かせください。

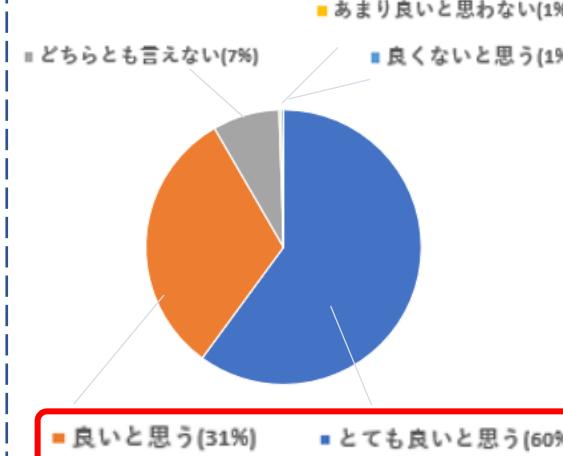
アンケート結果 (抜粋)

【総回答数 383人】

介護現場に介護テクノロジーを取り入れることは必要だと思いますか。



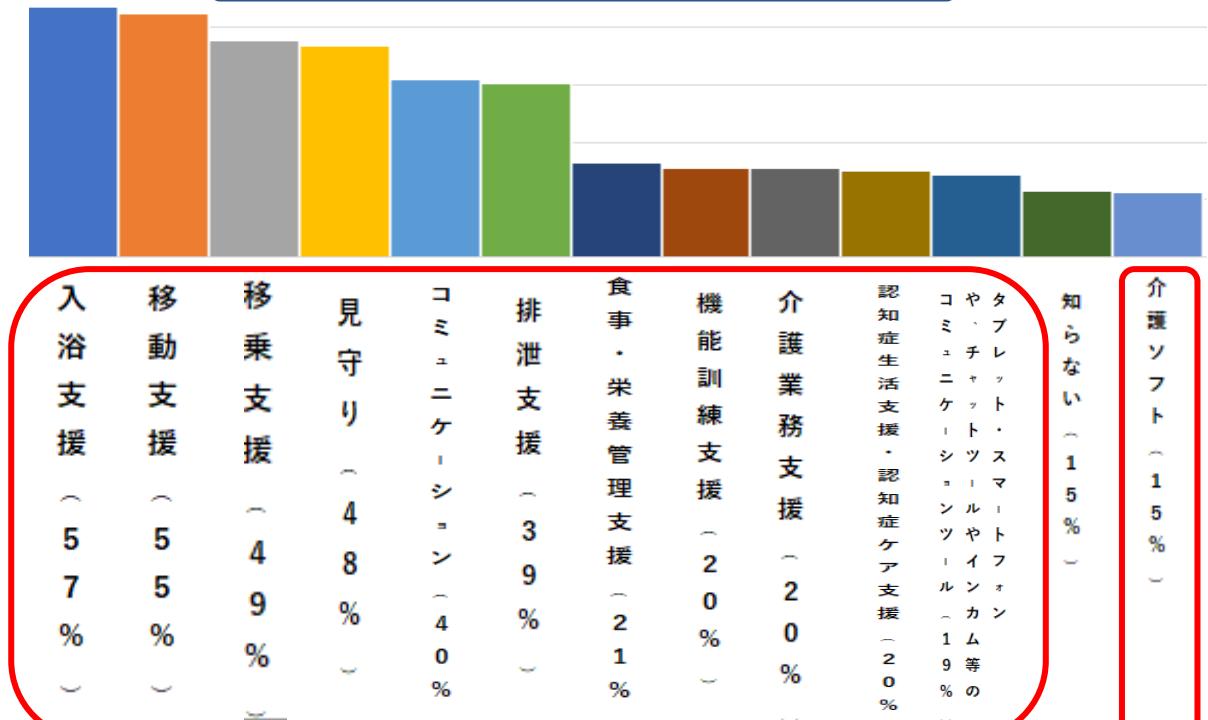
介護テクノロジーを積極的に導入している施設や事業所をどう思いますか。



▶ **91%**の学生が、介護テクノロジーを導入する必要があると回答している。

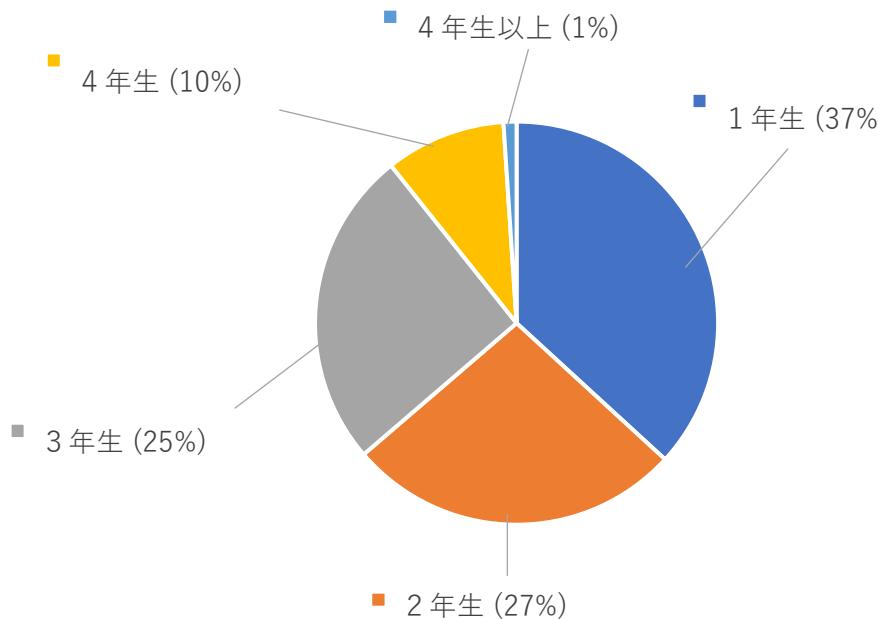
▶ **91%**の学生が、介護テクノロジーを導入している施設や事業所に対して好印象を抱いている。

知っている介護テクノロジーを選んでください。（複数回答可）

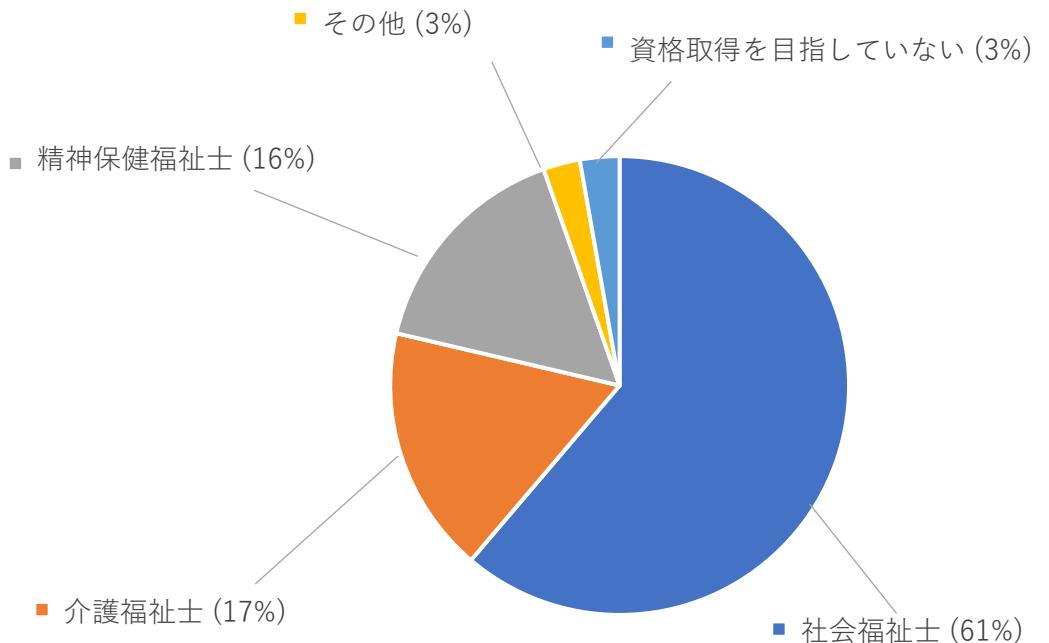


▶ **85%**の学生が、何らかの介護テクノロジーを知っている。

あなたは何年生ですか

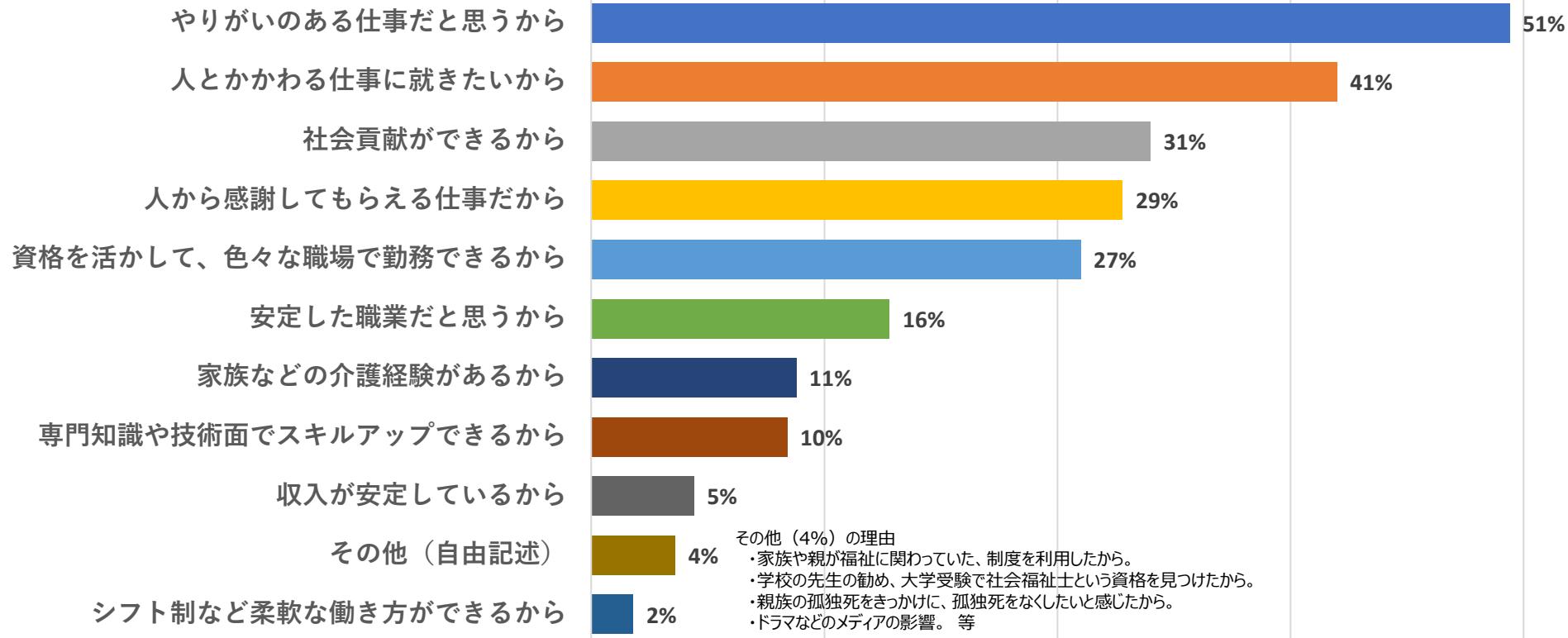


目指している資格は何ですか



97%の学生が、資格取得を目指している。
その他(3%) …スクールソーシャルワーカー、保育士 等

福祉の分野に興味を持った理由（複数回答あり）



▶ **51%**の学生が、やりがいのある仕事だと思うからと回答し、**41%**の学生が、人とかかわる仕事につきたいからと回答している。

大阪府では、介護事業所等が、業務の効率化等の職場環境改善を行うことで、介護従事者による**専門性を活かした利用者への直接ケアの時間を増やす**ことにより、ケアの質を向上することが重要と考え、以下の「**介護現場の生産性向上**」の取組を進めている。

事業名	事業内容
介護テクノロジー導入支援事業	介護事業所等が介護ロボットや I C T 等の介護テクノロジーの導入や定着に向けた導入費の補助
「大阪府介護生産性向上総合相談センター」の設置	介護現場の革新、生産性向上に資する様々な支援・施策を横断的・総合的に一括で取り扱い、介護事業所等からの介護テクノロジーの導入及び、人材確保に関する相談に関し、地域の福祉関係者など多様な関係者や、既存の各種事業とも連携した、ワンストップ型の支援

介護テクノロジーの導入メリットの中で魅力的だと思うことを選んでください。
(複数回答可)

介護ソフトを活用し、タブレット等により記録を入力することで、手書きでの書類作成の時間が減少する。



見守りセンサーを活用し、リアルタイムに利用者の状態把握を行うことで利用者の転倒を未然に防ぐことができ、利用者の安全性が向上する。



パワーアシストスツールなどの移乗支援機器の使用により、腰痛予防などの身体的負担の軽減につながる。



見守りセンサーを活用し、リアルタイムに利用者の状態把握を行うことで、利用者の部屋を訪問する回数が減り、見回り業務が効率化される。



見守りセンサーの活用により、バイタル等を測定できることで、利用者の心身や活動の状態を把握しやすくなる。



記録や請求業務のデジタル化により、紙媒体資料や保存スペースが削減される。



インカムやチャットツールに活用により、リアルタイムでの情報共有が可能になる。



インカムやチャットツールに活用により、職員間のコミュニケーションが円滑になる。



着型の移動支援機器の導入により、歩行など利用者が自分でできることが増える。



見守りセンサーの活用により、利用者の不安が軽減される。



その他

0.5% その他（0.5%）の意見
・介護テクノロジーを初めて聞いたため、よくわからない 等

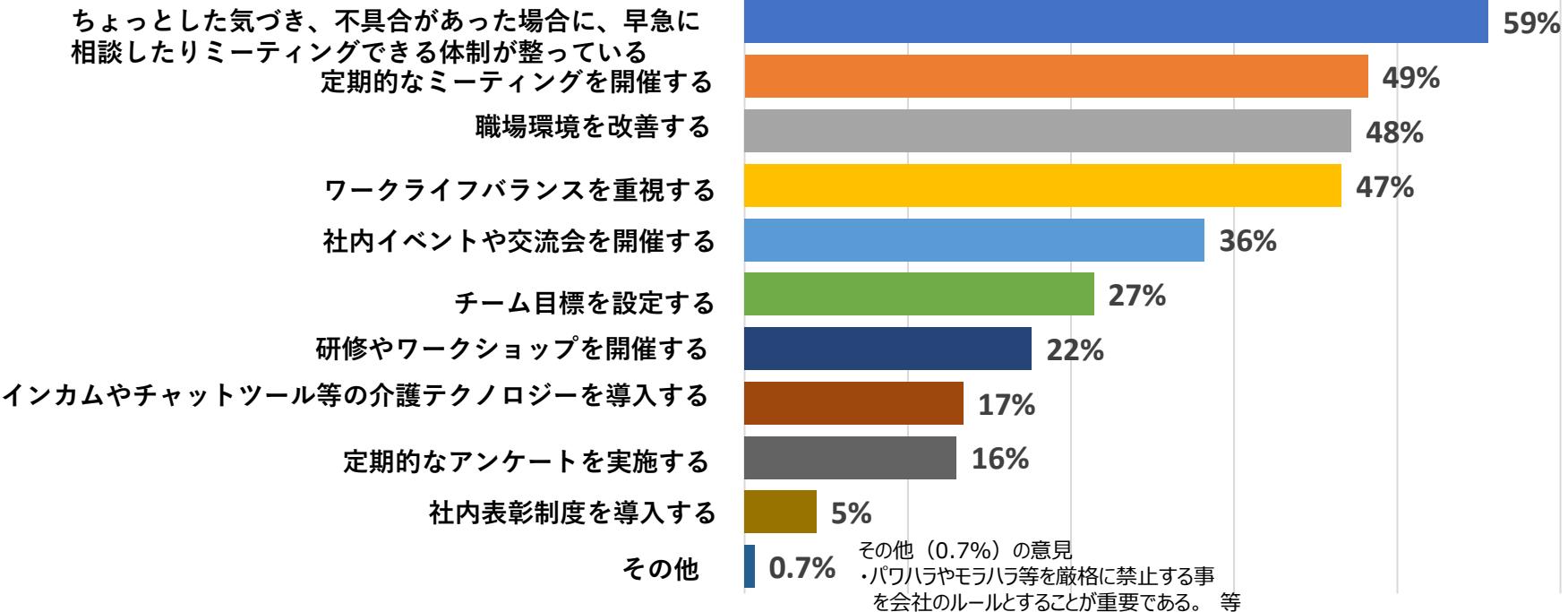
63%の学生が、介護ソフトとタブレット等を活用し、

手書きの書類作成の時間を減少することに魅力を感じている。

53%の学生が、見守りセンサーを活用し、リアルタイムに利用者の状態把握を行うことで、利用者の安全性が向上できることに魅力を感じている。

大阪府の補助申請においても、介護ソフトや見守りセンサーが多くなっており、アンケート結果から、
学生が魅力的と思う機器とマッチしている。

職場の人間関係をより良くするために、効果的な取り組み（複数回答あり）

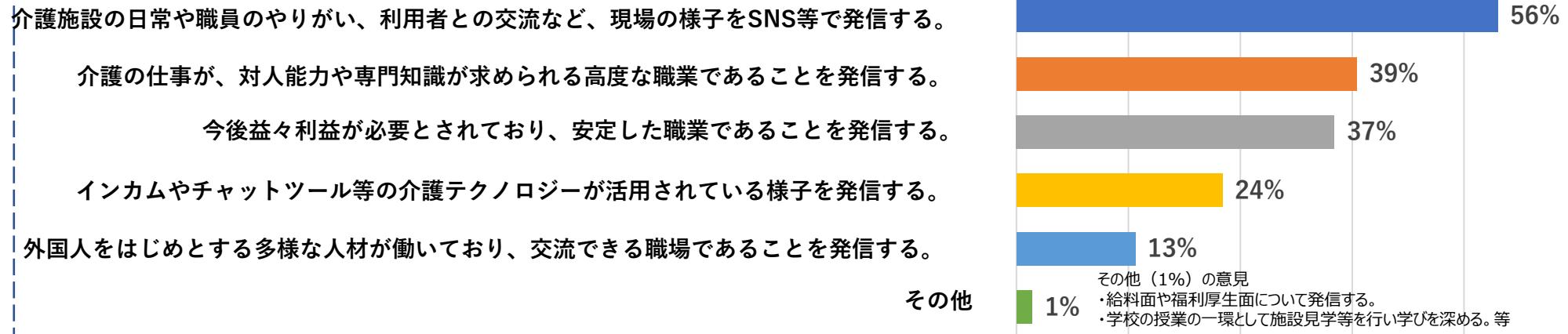


介護労働安定センターが実施する、「令和6年度介護労働実態調査（P2）」の結果によれば、離職理由として「職場の人間関係に問題があつたため」の割合が最も高かった。

本アンケートの結果によれば、**約半数の学生が、相談やミーティングができる環境が整っていることが効果的である**と回答している。

大阪府として、「大阪府介護生産性向上支援センター」が実施する「働きやすい職場環境づくり伴走支援プログラム」等を通して、個々の介護サービス事業所等が、それぞれ有する課題を把握し、業務の効率化や改善を行い、**より良い職場環境を実現するための支援をしていく必要がある**と考えられる。

若い世代に介護業界の魅力を伝えるために効果的な取り組み（複数回答あり）



▶ **56%**の学生が、SNSを利用して現場の様子を発信することが効果的であると回答している。